

日本生薬学会会員海外派遣助成事業
海外で開催される国際研究集会への参加 [成果報告書] (抜粋)

(B-2)

令和 7 年 11 月 7 日

日本生薬学会会長 殿

下記のとおり報告がありましたので、提出します。

1. 派遣者

所属 東京薬科大学大学院薬学研究科 職名 (学年) 博士課程 2 年
ふりがな しまぎき たまみ
氏名 島崎 珠美

2. 研究集会名

(欧文名) 73rd International Congress and Annual Meeting of the Society for
Medicinal Plant and Natural Product Research

(訳文名) 第 73 回薬用植物および天然物化学に関する国際学会年会

3. 派遣期間

2025 年 8 月 31 日 ～ 2025 年 9 月 3 日 (4 日間)

4. 国際研究集会の概要とその成果（併せて600字～800字で記載下さい。）

（概要）

本学会は、ドイツ連邦共和国に本部を置く **Society for Medicinal Plant and Natural Product Research** の年次総会として開催される国際学会であり、各国で行われている天然物化学研究の最新の知見を共有することを目的としている。本年度は8月31日から9月3日の日程でイタリア共和国のナポリ市で開催された。学会では、天然物の単離、構造決定、それらの各種生物活性、生物多様性、バイオエンジニアリング、および民族生物学などの非常に幅広いテーマで約100件の口頭発表、約600件のポスター発表が行われ、活発な意見交換が繰り返された。

（成果）

学会初日は **get-together event** が行われ、各国の参加者と交流し、親睦を深めた。私は演題名 “**Thirty-five steroidal glycosides from *Ornithogalum thyrsooides* bulbs and their cytotoxicity against human leukemia cells and human small-cell lung cancer cells**” でポスター発表を行った。具体的には、① *O. thyrsooides* 鱗茎から新規21種を含む計35種のステロイド配糖体を単離し、NMR スペクトルを中心とした各種スペクトルの解析によるそれらの化学構造を明らかにしたこと、②単離された化合物の **HL-60** ヒト白血病細胞および **SBC-3** ヒト小細胞肺癌細胞に対する細胞毒性について評価したこと、③上記の腫瘍細胞に対して細胞毒性を示した化合物のうち、1種の新規ステロイド配糖体についてより詳細に細胞毒性を評価したところ、**HL-60** 細胞に対してはアポトーシスを誘導する一方、**SBC-3** 細胞に対してはネクローシス様の細胞死を引き起こすことを報告した。その結果、大変光栄なことに **Poster Presentation Awards** を受賞することができた。また、基調講演や他の参加者の発表を聴講し、インフォマティクス技術を用いた成分探索の手法や、活性評価の手法など、最新の天然物化学研究の知見を得ることができた。今回得た知見を今後の自身の研究に反映させることで、さらなる研究の発展を図りたい。さらに、プレゼンテーションの技術についても多くのことを学ぶとともに気づきを得ることができた。本学会に参加することで得られた経験を糧に、今後の研究活動の質をさらに向上させていきたい。

5. キーワード（本研究成果のキーワードを最大6つお書き下さい。）

- ① *Ornithogalum thyrsooides* ② Steroidal glycoside ③ Cytotoxic activity
④ Apoptosis ⑤ HL-60 cell ⑥ SBC-3 cell

6. 本会からの助成に対する意見・希望等

今回、貴学会海外派遣助成事業のご支援を賜りましたことに深く感謝申し上げます。この度の助成により、国際学会という貴重な経験を積むことができました。